

## スロベニアの岩場

スロベニア(旧ユーゴ)は90年代に入ってから独立した新しい国で、東ヨーロッパの中でもビザなしで入国できる数少ない国である。山側はオーストリア、海側はイタリアに隣接し、いろいろな自然や文化がぶつかっている国で、世界で最も美しい国とも呼ばれている。東側とらことで若干の不安があったがむしろ、治安はイタリアなどに比べ、よい感じがした。また人々もイタリア、フランスに比べ繊細で親切である。クライミングの世界ではワールドカップが開催され、女子選手は常にコンペで上位に顔をだす力のある国である。クライミングに限らずスキーなどスポーツに対してはものすごく力を注いでいる。

ここではスロベニアで最も有名なオスプを紹介する。岩場の方もあなたの期待を十分満たしてくれるだろう。またスロベニアにはオスプ以外にも多くの岩場がある。

入国する際にはパスポートの提示を要求される。

またスロベニアの通貨は国境以外で交換することはできない、日本はもちろん西側の銀行でも交換してくれないので、国境でかならずリ等に両替しておくこと。

### S-1 オスプ(スロベニア)

スロベニアで最も有名な岩場はオスプである。オスプはスロベニアとイタリア国境から2kmほどしか離れていない田舎の村である。エリアは大きく分けてオスプとミシュヤペグの二つに分けられる。メインとなるのはミシュヤペグである。高さは5mほどのショートルートから25m以上のものまである。グレートも6aから8aまで60本ほどあるが、5.11後半以上が充実している。そのクラスの人にお勧めだ。傾斜は垂直から薄かぶりが多いが、中にはケープやボルダー的なロングのショートルートもある。チッピングは多少あるようだが、私は登っていて気が付かなかった。

岩質

岩灰岩

### ミシュヤペグ

このエリアはキャンプ場から1kmほど歩いても行ける。岩場はすし鉢状になっているのでそこだれん石でも落ちたかのようにえぐれている。エリアは左壁、中央壁、右壁に分けることができる。左壁と右壁は比較的短めのハング系のルートが多い。中央壁の左側は比較的垂直の傾斜でグレートも5.11-5.12が多い。右側は5.13クラスが多く、並んでいて30mほどのロンググレートもある。右壁、左壁は林に囲まれ1日中日陰。中央壁は夕方まで日向。少々の雨なら登ることができる。

### オスプ

村のすぐ後ろのエリアで歩いていく。このエリアは比較的易しめで短い。山の中腹のエリアは25mほどの5.12クラスが面白い。短いルートもある。しかしチッピングも多く見られる。右壁は5.10クラスの大スラブエリアとなっている。夕方まで日向。

宿泊

オスプの村にキャンプ場があり、ほとんどのクライマーはこれを利用している。

イタリアホテルを借り通うことも可能。

### シーズン

春と秋がベスト。

岩場は四方を取り囲む要塞のような形状で時間によって日当たり、日陰を選べる。

ただし基本的に雨が結構降る国なので天気は安定しない。突風でテントが吹き飛ばされることもあった。

### ショッピング、トボ

近くにスーパーや銀行、商店などはないので15kmほど離れたKOPERの街まで行かなければならない。あまり品物は揃っていない。ただしスロベニアではガソリンは安い。またスロベニアの通貨は国境以外の西ヨーロッパでは変える事はできないので注意(もちろん日本でも)。トポはスロベニアのほとんどのエリアがカバーされているものが、毎年改定されて出されており、オスプも非常に詳しく出ている。

#### アプローチ

ここではイタリアの最東部の街 TRIESTE からを紹介する。スロベニアのKOPER もしくは KOZINA 方面を目指して国境を超える2つの行き方がある。どちらから入国しても 般道 6b 号を走り途中のCRNIKALの村に向かう。そこでOSPの看板を見逃さないようにして6b号から別れて2kmほどでオスプに着く。実はオスプの村から2kmほどの所に小さな国境があるが、ここはイタリア人とスロベニア人専用。

#### レスト

隣のクロアチアへ行ってみるのもよい(ビザ不要)。生活環境の違いにびっくりする。

しかしなんと言っても是非見てほしいところは、オスプから1,5時間の所にあるPOSTOJNAの鍾乳洞。(jamaが鍾乳洞のこと、jをやと発音する)ここはとんでもなく広く歩いて全都回れない為、なんと洞内にトロッコ電車が走っている。アメリカで第1,2位のマンモススケープとカールスバット技乳洞を見たがその比ではない。その大きさとい、内部の美しさとい、自然の脅威にたまたま驚くばかりだ。スロベニアにはこの鍾乳洞だけを見に行く価値があるほどのものだ。

レストランはアドリア海に近いので魚介類が多い。お勧めはオスプの村から 般道 6b 号に合流した村(CRNIKALのレストラン)オスプのすぐそばはやめた方がよい。

95年9月 木村伸介